

あま市本庁舎基本設計が完了しました

市では、平成34年度の開庁を目標に、現在新庁舎整備事業を進めています。このたび、平成28年度から2か年かけて、市民ミーティングや基本設計委員会、パブリックコメントなど、市民の皆様にご参加いただきながら「市民参加型」による庁舎づくりを進め、基本設計をとりまとめましたので、その概要についてお知らせします。



南東から見た庁舎<イメージ図>

■新庁舎設計主旨・コンセプト

- 1 中枢防災拠点として市民の安全安心を守る庁舎
- 2 行政機能の拠点として、市民が利用しやすい庁舎
- 3 市民の交流拠点として、すべての人に親しみやすい庁舎
- 4 環境と共生する人にも自然にもやさしい庁舎
- 5 ライフサイクルコストに優れた経済的かつ長寿命な庁舎

■計画概要

計 画 地：愛知県あま市七宝町沖之島深坪地内
 敷地面積：約23,500㎡
 建築面積：約3,800㎡
 延床面積：約11,500㎡
 構造種別：鉄筋コンクリート造(基礎免震構造)
 階 層：地上5階(高さ:道路面から約26m)
 駐 車 場：約460台(立体駐車場約260台)
 広 場：約3,700㎡

■事業スケジュール

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
新庁舎整備事業	基本設計						
			実施設計				開
			用地取得				庁
					造成工事・建設工事		

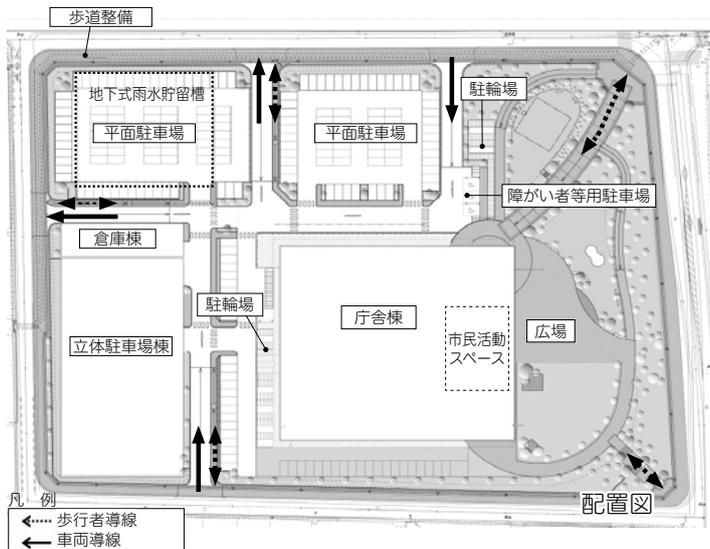
問合せ先 新庁舎建設課 ☎444・1365

■配置計画

庁舎は、敷地のほぼ中央に配置し、中枢防災拠点としての機能を整備します。また、立体駐車場は、災害時には救援物資の受入スペースとしての活用も想定します。

敷地北側道路に面して自動車のメイン出入口を設けるとともに、南側及び西側にも出入口を設置します。また、敷地外周の道路は、すべての面に歩道を整備し、歩行者の安全を確保します。

広場は、庁舎1階の市民活動スペースと日常的に連動した活用やイベントなどが行えるよう、出入口の位置や舗装に配慮します。また、災害時には広域支援部隊の活動スペースとしての活用も想定します。



■造成計画

庁舎敷地は、浸水リスクに備え、敷地全体を嵩上げる防災盛土とするとともに、災害対策本部となる新庁舎の建物下においては、耐震性を確保するため、地盤の液状化対策を行います。



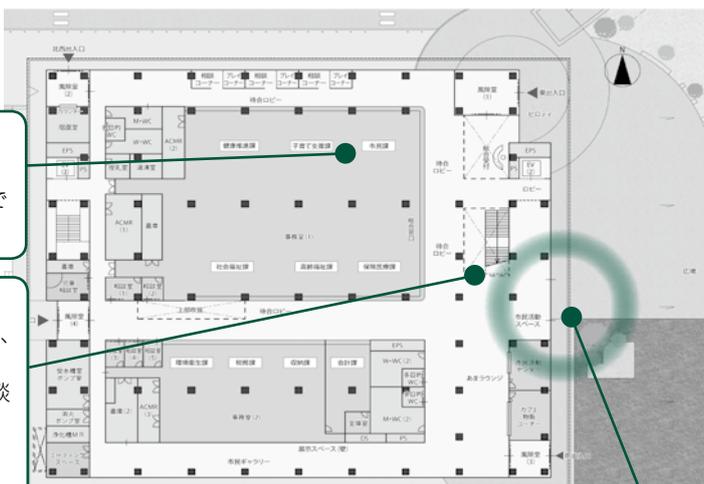
■平面計画

新庁舎は、利用者の多い窓口部門と市民利用機能を低層階に集約することにより、市民にとって利便性の高いフロア配置とするとともに、業務の効率性の観点から、事務部門は面積を絞ったうえ、上層階に集約配置します。

(フロア構成)

1階

総務部、市民生活部、福祉部、市民活動スペースなど



市民窓口

- 市民の利用が特に多い窓口部門を1階に集約します。
- 窓口カウンター近くに相談室を複数設け、市民が気軽に相談できるようにプライバシーに配慮した配置とします。

市民活動スペース

- 市民協働の一環として、多目的に利用できるスペースを設けて、市民同士の交流を促す機能を備えます。
- 市民協働の取組みを支援するため、市民活動の情報発信や相談業務などの市民活動センター機能を備えます。



広場に面して明るいあまらウンジ・市民活動スペース

広場(屋外スペース)

- 庁舎との連続性があり、内部・外部を一体的に利用できる広場を設けます。



庁舎と一体的に利用できるイメージ

2階

建設産業部、上下水道部、教育委員会 など

3階

市長室、災害対策本部室、企画財政部、総務部 など

4階

議場、議会関係諸室 など

5階

機械室 など